

教科	外国語	科目	論理・表現I
履修条件 対象生徒	選択必修 デザイン科 2学年		
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を中心に学習し、必要な表現を覚える練習をする。 コミュニケーションに必要な文法・語法を深く理解する。 英語圏の国々の文化について学び、言葉の背景にある習慣や考え方を理解する。 ペアやグループ、一斉等、様々な形態を用いて多種多様な会話表現に慣れる。 その日の授業で学んだことの復習をする。 <p>[補習・その他]</p> <p>与えられた補助教材を活用して、自主的かつ意欲的に取り組む。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>< 1 学期末考査まで ></p> <p>自己紹介、授業説明</p> <p>Lesson1. はじめに①</p> <p>Lesson2. はじめに②</p> <p>Lesson3. はじめに③</p> <p>Lesson4. My friends</p> <p>Lesson5. My family</p> <p>Lesson6. Pastime</p> <p>Lesson7. My town</p> <p>Lesson8. Our teachers</p> <p>Lesson9. Visiting s Museum</p> <p>Lesson10. Famous People</p> <p>< 2 学期末考査まで ></p> <p>Lesson11. Reading</p> <p>Lesson12. Studying Abroad</p> <p>Lesson13. Advice</p> <p>Lesson14. Hobbies</p> <p>Lesson15. My Vacation</p> <p>Lesson16.. In a Zoo</p> <p>< 学年末考査まで ></p> <p>Lesson17. Our Team</p> <p>Lesson18. Neighbors</p> <p>Lesson19. Speeches</p> <p>Lesson20. My Wish</p> <p>Lesson21. A Birthday Gift</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の進め方、予習・復習のし方の説明 ○ <S+V+・・・>の構文、天候を表す it を使う。 ○ さまざまな動詞や <There is..> などを使う。 ○ 名詞の複数形、数えられない名詞、冠詞を適切に使う。 ○ 肯定文・否定文・疑問文を作る。 ○ 現在形・現在進行形・過去形・過去進行形の文を作る。 ○ will, be going to..などの未来表現を使う。 ○ 現在完了・過去完了形を適切に使う。 ○ 助動詞(can, must, may)を使った文を作る。 ○ should, must や、助動詞+have+過去分詞の形を使う。 ○ 文型：SVC～SVOC を理解して使う。 ○ 受け身：be 動詞+過去分詞を使う。 ○ 不定詞の名詞用法・形容詞用法を使う。 ○ 不定詞の副詞用法を使う。 ○ 動名詞を適切に使う。 ○ 名詞を修飾する分詞や、<SV+分詞><SVO+分詞>を使う。 ○ 原級、比較級を用いた比較表現を使う。 ○ 最上級や、比較の慣用表現を使う。 ○ 関係代名詞、who, which, that などを使う。 ○ 関係代名詞 what、関係副詞を使う。 ○ 仮定法過去、仮定法過去完了、<wish+仮定法>、<as if+仮定法>を使う。 ○ 名詞節副詞節を接続詞を使う。 	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して、話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して、話したり書いたりして伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話したり、書こうとしたりしている。
評価の方法	ルーブリック評価表を利用して、評価の観点、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」の3つの観点から、授業態度、テスト結果、提出物などの学習活動を総合的に判断して評価する。		

